

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第304号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年7月22日 12時00分ごろ	
発生場所	日本海 兵庫県北部の陸岸から73km沖付近 (概位 北緯36°19.1′ 東経134°40.4′)	
事故等調査の経過	平成21年10月5日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	引船 ^{ふしや} 不捨丸、124トン	
船舶番号、船舶所有者等	118519、株式会社近藤海事	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海） 機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	Oリング損傷	
事故等の経過	本船は、兵庫県北部の陸岸から73km沖付近の日本海海域を航行中、平成21年7月22日12時00分ごろ、主機出力軸の継手内部から潤滑油が漏れるようになり、継手の運転が出来なくなって運航不能に陥った。 本船は、救助を要請し、来援した引船に最寄りの港までえい航された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：うねり なし、波高 約0.3m	
その他の事項	えい航された港及び船籍港で「増締め」施工が行われた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 経年使用により継手の締付けボルトが緩み、内部の潤滑油が漏れるようになったことから、継手の運転が出来なくなったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が航行中、主機出力軸の継手の締付けボルトが緩み、内部から潤滑油が漏れるようになったため、主機の運転が出来なくなったことにより発生したものと考えられる。	